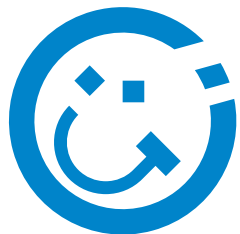


自分の将来のために、いま考えよう！

次代を担う高校生にとって、金融や経済について考えることは、これから社会とどう関わって生きていくのかにつながる大きなテーマです。同世代の仲間の考えを聞き、自らの思いを語り、将来の姿を描いてしっかり歩んでいきたいですね。昨年、全国から1,936点の作品が寄せられ、19点が入賞作品に選ばれました。あなたも、自分の将来のために、金融や経済について、いま考えてみませんか。



応募の注意点

●文字数について **空白を含む1,600～3,200字**（作品タイトル・学校名・学年・氏名・参考文献・出典は含みません）



原稿用紙で
書くなら

400字詰め原稿用紙
※タテ20字×ヨコ20行
5枚目3行目以上記入



パソコン原稿で
書くなら

1行20字詰め
※1枚につき30行以内

◎作品募集ホームページ(<https://ron2025.j-flec.go.jp/>)にある応募用原稿用紙をご利用になることもできます。

●応募について

個人で応募する場合	・下記応募用紙に記入してください(応募用紙はコピー可)。 ・作品タイトル、氏名(ふりがな)、学校名(ふりがな)、学年、学校および自宅の住所、電話番号、FAX 番号、メールアドレスを記入して作品に添付してください(応募用紙は必ず本人が記入してください)。
学校単位で応募する場合	・学校宛てにお送りしています学校専用応募用紙にてご応募ください。 (学校専用応募用紙はホームページ < https://ron2025.j-flec.go.jp/ >からダウンロードすることもできます) ・下記応募用紙(個人用)は不要です。

◎応募は未発表の作品に限ります(インターネット上での作品公開も発表とみなします)。また、二重投稿はご遠慮ください。 ◎日本語に限ります。 ◎作品は理由を問わず返却しません。

◎入賞作品の著作権・版權は主催者に帰属します。 ◎佳作の作品は公表しません。

◎作品公表の際には個別企業名や商品名に関する表記を変更させていただくことがありますので、予めご了承ください。

※応募の際は、下記個人情報の取り扱いについて保護者の方にもご確認いただいたうえでご応募ください。

個人情報の取り扱いについて●応募者の個人情報は、入賞作品の選考、入賞者への連絡のためにのみ使用し、主催者および当コンクール業務受託先が責任をもって管理します。●応募者本人または保護者の許可なく第三者に個人情報を開示することはありません。ただし、法律や法的拘束力のある命令等に基づいて開示が要求された場合には、その要求に応じることがあります。●入賞者の氏名・学校名・学年および作品の一部は、主催者ホームページにて公表させていただきますので、予めご了承ください。



キリトリ

第23回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール 応募用紙(個人用)

作品タイトル		
ふりがな 氏名	ふりがな 学校名	学年
学校住所 (〒 -) 都 道 市 区 府 県 郡		立 学校 年
学校電話番号 () -	学校FAX番号 () -	
自宅住所 (〒 -) 都 道 市 区 府 県 郡		
電話番号(日中連絡の取れる先) () -	メールアドレス	

下記のアンケートにご協力ください▷このコンクールはどちらで知りましたか。番号を○で囲んでください。(複数回答可)

- | | | | |
|-----------------|-------------------|----------------------|------------|
| 1. チラシ・ポスター(学校) | 2. チラシ・ポスター(学校以外) | 3. 新聞・雑誌・WEB広告(媒体名) | |
| 4. ホームページ | 5. 知人から | 6. 学校・先生(夏休み等の課題・宿題) | 7. その他 () |

※応募者の個人情報は当コンクール以外の用途には使用しません。

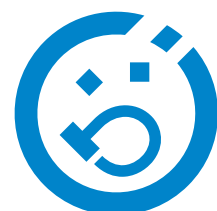
第23回

金融と経済を

考える高校生小論文 コンクール

J-FLEC(金融経済教育推進機構)は、
全国の高校生・高等専門学校生・高等専修学校生等を対象に
「金融と経済を考える」小論文を募集します。
金融や経済は遠い世界のことでなく、みなさんの暮らしを
支えているものです。ふだんの経験から感じたこと、ニュースなどから
考えたこと、疑問に思っ調べてしたことなど、小論文にまとめてご応募ください。

締切
9月15日
消印有効



賞

特選

5 編 賞状と奨学金 5万円

金融担当大臣賞 / 文部科学大臣賞 / 日本銀行総裁賞 /
全国公民科・社会科教育研究会会長賞 / J-FLEC 理事長賞

秀作

5 編 賞状と奨学金 3万円

佳作

10 編 賞状と図書カード 6千円分

学校賞

5 校 賞状と図書カード 1万円分

特選受賞者在籍校

J-FLEC(ジェイフレック)
金融経済教育推進機構

J-FLEC(金融経済教育推進機構)は、国民に広く金融経済教育を届けることを目的に
設立された、金融庁所管の認可法人です。

(主催) J-FLEC(金融経済教育推進機構)

(後援) 金融庁、文部科学省、日本銀行、全国公民科・社会科教育研究会、公益財団法人全国商業高等学校協会

全国家庭科教育協会、日本私立中学高等学校連合会、全国都道府県教育委員会連合会、全国市町村教育委員会連合会



テーマは「金融と経済」に関すること。高校生としての自分の意見や主張を小論文スタイルで表現してください。テーマを考える参考として、テーマの例を下記に示します。ただし、この中から選ぶ必要はありません。自分が書きたいと思う内容を、自由に考えてみてください。

題名(作品タイトル)は自由です。作品の内容に相応しいものをつけてください。

- 持続可能社会の実現に向けて 高校生の私が考える「社会のためになる投資」
- 将来の夢実現 高校生の私が考える「活きたお金の使い方」
- キャッシュレス社会を生きる 「見えないお金」の便利さと怖さについて考える
- 私が社長になったら 高校生の私が考える地域を元気にするビジネス
- オトナの自覚 社会に出る前に考えておきたい「お金」のこと
- 「未成年者取消権」喪失 高校生の私が考える悪質商法撃退策

■第23回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール 募集要項

応募資格	高校生、中等教育学校生(後期課程)、高等専門学校生(3年生まで)、高等専修学校生
賞	■特選 5編(賞状と奨学金5万円) 金融担当大臣賞／文部科学大臣賞／日本銀行総裁賞／全国公民科・社会科教育研究会会長賞／J-FLEC理事長賞 ■秀作 5編(賞状と奨学金3万円) ■佳作 10編(賞状と図書カード6千円分) ■学校賞(特選受賞者在籍校) 5校(賞状と図書カード1万円分)
締め切り	2025年9月15日(月・祝)※消印有効
発表	12月中旬頃、主催者ホームページで発表。
応募方法	郵送応募 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 5F 毎日企画サービス J-FLECコンクール事務局「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール係 WEB応募 作品募集ホームページの応募フォームから送信してください。 https://ron2025.j-flec.go.jp/
問い合わせ先	J-FLECコンクール事務局 TEL.03-6265-6818(土・日・祝日を除く10時～17時) 作品募集ホームページ https://ron2025.j-flec.go.jp/



前回審査員(敬称略)

松島 斉(東京大学大学院経済学研究科教授) 山田 真哉(公認会計士・税理士) 沖山 栄一(全国公民科・社会科教育研究会会長)
阿部 睦子(全国家庭科教育協会理事長) 岩澤 未奈(東京都立狛江高等学校主任教諭) 西 祐貴子(筑波大学附属高等学校教諭)
堀 枝里子(東京都立農業高等学校主幹教諭) 村上 悠介(金融庁総合政策局総合政策課金融経済教育推進室課長補佐)
西澤 美彦(文部科学省初中等教育局視学官) 小牧 義弘(日本銀行情報サービス局長) 大友 佳子(金融経済教育推進機構理事)

先生向け

小論文指導にあたり、先生方から生徒たちへ伝えていただきたいこと

金融・経済に関する諸課題や働くことの意味などについて、高校生が自分の事として捉え、事実関係やデータを調べ、考えたことを小論文にまとめる作業は、論理的思考力や表現力の向上に繋がります。生徒には、自分の立場や論点を明確にして、考えを論じるよう指導してください。また、調べた事実やデータの妥当性・信頼性を吟味し、主張を支える適切な根拠を揃えるよう助言してください。

なお、学校単位で応募いただく場合、作品の確認・添削は必要ございません。生徒が書かれた作品はすべてお送りください。

生徒向け

小論文の書き方(参考)

- 小論文を書くにあたって、上記のテーマ例を参考に自分が関心があるものや書きたいことを考えます。小論文の題名(タイトル)は、自由につけてください。
- 決めたテーマについて、自分の意見・主張を明確にします。
- 説得力を高めるため、理由・根拠となる客観的な事実やデータを調べてください。
- 最後に、構成(序論・本論・結論)を決めて、書き始めます。
- 事実やデータは自分の意見・主張と混ざらないように区別して書いてください。



受賞作品の紹介

過去の入賞作品はこちらでご覧いただけます。



金融担当大臣賞
ボー活と寄付
京都府 同志社女子高等学校 3年
今村 茉奈さん

ハンバーガー購入時に売り上げの一部が寄付される仕組みがあることを知った筆者は、母との話をきっかけに「ボー活寄付」について興味を持ち調査します。手軽さや多様な寄付先に魅力があり、企業・消費者・寄付先すべてにメリットがあると分析。寄付の新しい形として今後の普及に期待を寄せます。「身近な体験を通じてボー活と寄付の関係をわかりやすく考察している」と評価されました。

文部科学大臣賞
地域経済を発展させるためのベストな戦略
岐阜県 関市立関商工高等学校 3年
齋藤 奨悟さん

筆者は、刃物産地として知られる地元・岐阜県関市の少子高齢化や担い手不足に危機感を抱き、若者の地元定着に向けた年代別の施策を提案。刃物づくり体験や商店街に自習室を設けるなどの工夫に加え、最近できたふれあい広場のPR強化も主張し、「関市に居続けたい人が増えれば明るい未来が来る」と結びます。「課題を自分ごととして捉えた提案が具体的に高校生らしい」と評価されました。

全国公民科・社会科教育研究会会長賞
祖父から学んだ投資の知恵
愛媛県 愛媛県立松山西中等教育学校 5年
早川 颯さん

筆者は、試験勉強で壁にぶつかった時、投資に造詣の深い祖父から「信じて待つことが大切」という教えを受けます。その言葉を心に刻み、勉強や人間関係、将来の不安に向き合う中で、その価値を実感。焦らず進むことで自分の道が開けると学び、持続可能な未来を見据えた生き方を目指す結びます。「投資の本質を捉え、社会に役立つ視点を持っている点が素晴らしい」と評価されました。

J-FLEC 理事長賞
リスクヘッジからリスクテイクする時代へ
東京都 東京学芸大学附属国際中等教育学校 5年
中川 心之介さん

起業家を目指す筆者は、ベトナムで学んだ「リスクはチャンスの証」という価値観を大切にしています。日本の若者が挑戦しやすい環境整備の必要性を主張し、米国・シリコンバレーを参考に、失敗を評価する文化や制度面の違い、投資家の状況を分析し、起業家教育の充実も提言します。「自身の夢の実現に向け、調べたことから結論へ導く流れが前向きで非常によい」と評価されました。

日本銀行総裁賞
「私の投資物語」
新潟県 新潟県立新潟高等学校 2年
高橋 くららさん

筆者は中学生の時「私に投資してほしい」と母に提案し、勉強やスポーツ、習い事に必要なお金の計画書を作成、月1万円の投資を得ます。高校生になった今、引き続き将来計画を進める中で、筆者は責任感や自身の成長を実感し、自分も誰かの支えとなるようなお金の使い方を目指したいと結びます。「自分への投資という視点がユニークで、家族の愛情も伝わる生き生きとした文章」と評価されました。

秀作
神奈川県 逗子開成高等学校 1年
宇高 太陽さん

神奈川県 横浜創学館高等学校 2年
宮本 祥太さん

石川県 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校 2年
松尾 奈夏さん

岡山県 岡山県立総社南高等学校 2年
尾崎 葵さん

小論文を書くにあたってのご注意

- ・本文冒頭1行目に作品タイトル、2行目に学校名、学年、氏名を記入してください。
本文は3行目から始めてください。
- ・学校名が長い場合、本文は4行目(学年、氏名を記入した次の行)から記入してください。
- ・規定文字数に達しない作品は審査の対象となりません。
※原稿用紙によらないパソコン原稿の場合も同様です。
- ・各ページにページ番号を記載し、右肩をホチキスで留めてください。
- ・生成AIが作成した文章をそのまま使ったの応募はできません。
- ・ご応募いただいた作品が「盗用」・「生成AIによる生成物」とであると認められた場合、審査の対象外となります。また、後日判明した場合は、入賞の取り消しをさせていただきます。

- 参考文献の明記……………
- ・参考にした文献(書籍、インターネット等)はすべて、小論文の最終ページに必ず記入してください。記入せずに他の人の文章を使用することは「盗用」とみなされてしまうことがあります。
 - 引用するときの注意点……………
 - ・引用する文章は変更せず、かぎ括弧をつけて自分の文章と明確に区別したうえで、小論文の最終ページに必ず出典を記載してください。
 - ・かぎ括弧や出典の記載をせずに、インターネット等で入手した他の人の文章を書き写して小論文を作成することは「盗用」とみなされてしまうことがありますので、注意しましょう。

〈最終ページ〉

書籍の場合
○ 枚目○行目(応募作品中該当箇所、著者名、『書籍名』、出版社名、出版年、参照または引用したページ、インターネットの場合
○ 枚目○行目(応募作品中該当箇所、著者名、タイトル、URL、閲覧日

〈出典〉

○ 枚目○行目、金融経済教育推進機構『十八歳までに学ぶ契約の知恵』
○ 出版、二〇二四年八月、二ページ「契約とは？」
○ 枚目○行目、金融経済教育推進機構『金融トラブルに合わないためには』
<https://www.j-flec.go.jp/public/learn/toubes/>
閲覧日二〇二五年七月十九日

(出典の記入例)

本文冒頭の記入方法

○ 1行目 作品タイトル
○ 2行目 学校名、学年、氏名
○ 3行目 本文

作品タイトル
3年 金融 太郎

(記入例)

動画で check!

必ず見てね!

小論文を書くときのポイントと注意点をまとめました。応募の前に必ずチェックしてください。